

明海大学浦安キャンパス教育後援会会報

明海大学



MEIKAI UNIVERSITY

潮風

平成16年1月20日発行 (年2回刊)

(教育後援会だより)

しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会

〒279-8550 千葉県浦安市明海8

電話 047-355-5112 FAX 047-355-2871

http://www.meikai-koenkai.com/



関東地区懇談会

2003年度・地区父母懇談会

総勢約500名が参加して行われた2003年度地区父母懇談会。初めて開催された盛岡市など東北、北陸、関東、東海で6回開催。

東北地区A

9月20日(土)、初めての開催地となる盛岡市で2003年度の父母懇談会がスタートした。

参加者は小泉允副学長をはじめとした教職員、教育後援会役員、事務員そして父母の42名。参加した父母の多くは岩手県在住。そのほか青森、秋田、宮城など、中には車で3時間かけて参加した父母もいた。

大塚博行教育後援会会長は「多くの先生方も参加していただいております。遠く離れた地にお子さまのことは何かと心配かと思

います。学業のこと私生活のこと、また留学、就職について何でも相談していただき、有意義な一日にして

現代の大学生の多くがなぜ中学校で習う分数や割合がわからないのかをいくつかの例をあげて話され、少子化に伴う学力低下について「現在の子どもの遊びは、一人はファミコン、もう一人はその横で本を読んでいるなど、友だちと遊んでいるように実際は友だち付き合いをしない。その昔は、遊びの中でも物を分け合ったり物を交換するなど、分数や割合を遊びの中で自然と勉強していました」と話し、また、今の学生の特徴として、結論だけを急いで求めたり「知識の断片化」をする学生が多く、順序だててじっくり考えることが苦手になっていると話された。

個別面談では成績表をもとに話が進められ、父母の方たちは熱心に先生の話を耳を傾けていた。



林亜夫教授の講演

時を過ごし、今年で卒業する4年生の父母は「色々とお世話になり感謝しています」と挨拶。最後に教育後援会幹事の奥山さんが「今日の話を子どもたちにも聞かせたいと思いました。浦安に住んでいる私でも子どもが大学に行っているのか時々心配になることがあります。みなさんほんまご心配だと思えます」と挨拶し

東北地区B

9月27日(土) 福島市で東北地区父母懇談会が行われ、盛岡市に続き東北地区では2回目の開催となった。

参加者は高倉翔学長を始めとした教職員、教育後援会役員、事務員、そして41名の父母を合わせ74名。溝口正孝教育後援会副会長が「この地区懇談会は教育後援会の主力事業の一つ

望を語り、怠け者は不満を語る。最近の若者群像」と題し、約50分間話をされた。高月教授の専門は金融論。冒頭ではヤミ金融の仕組みなどについて話されその後、銀行マン時代に接した若者の話や大学に来てからの学生「今時の若者」について話をされた。

北陸地区

北陸地区父母懇談会が新潟市内で10月13日(祝)に開催された。この日はあいにくの雨となっていました

が、会場には新潟県富山県に住む24家族、38人の父母と、大学側からは小泉允副学長をはじめとした教職員と、教育後援会の役員ら



高月昭年教授の講演

懇親会では来卒業予定の4年生の父母が突然の指名にも関わらず「このよう

次に、教育後援会のホームページですが情報内容としては当初少々堅い内容でしたがよりやさしく、具体的に状況に即した内容と努力してまいりました。多くの写真や速効性のある構成になってきていると思

本人の希望で入った大学で学生生活は楽しいと聞いていますが、遠く離れた一人暮らしをしている娘のことを考えると全てが心配です。今日は大学の状況も聞け、また、個人面談もとても参考になりましたので参加してよかったと思います。

本人の希望で入った大学で学生生活は楽しいと聞いていますが、遠く離れた一人暮らしをしている娘のことを考えると全てが心配です。今日は大学の状況も聞け、また、個人面談もとても参考になりましたので参加してよかったと思います。

長期的な課題としては、大学や学生が活動できるコンベンションホール(多目的ホール)なども要望としてあげられています。いすれの課題もすぐには解決できないと思いますが、大学の発展と学生の幸せのために教育後援会は協力、支援していきたく思っています。ご協力ご支援をお願い申し上げます。



個別面談 (北陸地区)

その後、外国語学部長の小池生夫教授が「日本人と英語」をテーマに講演。遣唐使の時代や、江戸時代の歴史上のエピソードを交えて、日本と外国語のかかわりについて、わかりやすくおもしろく話をされた。

個別面談では、各学科の先生方による成績相談のほか、教務や留学支援、学生支援、就職支援など学生生活全般にわたる相談コーナーが設けられ、多くの方が相談をしていた。そして懇親会では、成瀬副学長が「ここからは堅い話は抜きです。かみしもを脱いで語り合いたしましょう」と口火を切り、一気に和やかな雰囲気になった。

東海地区父母懇談会が静岡市内で11月9日(日)に開催された。会場には20家族、27人の父母と、大学側からは成瀬副学長、小泉允副学長をはじめとした教職員21人と、教育後援会の役員らが参加。



小池生夫教授の講演



塩田長英教授の講演



三本木健治教授の講演

卒業しても地区懇談会に参加できるようなしてほしいという提案が飛び出すなど、楽しい雰囲気でも盛り上がりがあった。

「就職相談」  
・本学の大学院に進みたいという方から、大学院の授業や試験について質問があげられた。

「就学相談」  
・来年度留学が決まっている学生の父母に、出発までの準備について質問された。学生を通して情報を流しているつもりだったが、もっときめ細かく行う必要があると感じた。

「参加者の感想」  
●個人面談で卒業できそうだと何い、ほっとしています。毎年参加してきましたが今年が最後。ちょっとさみしいです。明海大学の先生方は温かくて面見がいいと思います。卒業後もよろしく願います。

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

「参加者の感想」  
●大学の改革はしっかりやっていた方がいい。経済学科2年男子(千葉県)個人面談はいいねいやりやっていたら、よくわかりました。できれば子どものお話を聞きたいと思えます。

「参加者の感想」  
●個人面談で卒業できそうだと何い、ほっとしています。毎年参加してきましたが今年が最後。ちょっとさみしいです。明海大学の先生方は温かくて面見がいいと思います。卒業後もよろしく願います。

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

「参加者の感想」  
●大学の改革はしっかりやっていた方がいい。経済学科2年男子(千葉県)個人面談はいいねいやりやっていたら、よくわかりました。できれば子どものお話を聞きたいと思えます。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

「参加者の感想」  
●大学の改革はしっかりやっていた方がいい。経済学科2年男子(千葉県)個人面談はいいねいやりやっていたら、よくわかりました。できれば子どものお話を聞きたいと思えます。

### 東海地区

有意義な会でした。相談コーナーは気軽に相談できる雰囲気だと思います。先生方とこんなに親しくなれるとは思いませんでした。不動産学科2年女子(新潟県)

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

「参加者の感想」  
●大学の改革はしっかりやっていた方がいい。経済学科2年男子(千葉県)個人面談はいいねいやりやっていたら、よくわかりました。できれば子どものお話を聞きたいと思えます。

### 関東地区

「参加者の感想」  
●個人面談で卒業できそうだと何い、ほっとしています。毎年参加してきましたが今年が最後。ちょっとさみしいです。明海大学の先生方は温かくて面見がいいと思います。卒業後もよろしく願います。

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

「参加者の感想」  
●大学の改革はしっかりやっていた方がいい。経済学科2年男子(千葉県)個人面談はいいねいやりやっていたら、よくわかりました。できれば子どものお話を聞きたいと思えます。

### 地区懇談会アンケート

アンケート回収数89名 日本語学科10名・英米語学科29名・中国語学科3名・経済学科19名・不動産学科28名  
学年：1年28名・2年15名・3年31名・4年15名  
参加回数：1回47名・2回19名・3回17名・4回6名

「参加者の感想」  
●個人面談で卒業できそうだと何い、ほっとしています。毎年参加してきましたが今年が最後。ちょっとさみしいです。明海大学の先生方は温かくて面見がいいと思います。卒業後もよろしく願います。

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

### 関東地区懇談会アンケート (2年次対象) 回収数99名

日本語学科3名・英米語学科24名・中国語学科14名・経済学科34名・不動産学科24名

「参加者の感想」  
●個人面談で卒業できそうだと何い、ほっとしています。毎年参加してきましたが今年が最後。ちょっとさみしいです。明海大学の先生方は温かくて面見がいいと思います。卒業後もよろしく願います。

「参加者の感想」  
●とても楽しい雰囲気でした。子どもはいい先生や職員の方たちに囲まれているのだからいいなと思いました。

「参加者の感想」  
●大学の改革、大学の取り組みがよくわかりました。カリキュラムの話が興味深かったです。自分が大学へ行っていた頃とはずいぶん様子が違うので驚きました。

**地区懇談会アンケート**

アンケート回収数89名 日本語学科10名・英米語学科29名・中国語学科3名・経済学科19名・不動産学科28名  
学年：1年28名・2年15名・3年31名・4年15名  
参加回数：1回47名・2回19名・3回17名・4回6名

**A. 今後の教育後援会に期待することは**

- これから懇談会を続けてほしい
- 個別面談の時間を長くしてほしい
- 学生、学内の状況についての情報
- 就職状況の案内
- 留学制度のバックアップ
- 大学と一体となって頑張してほしい

**B. 大学に関する要望は**

- 内容を細かく教えてほしい
- 就職、資格等の情報提供
- 留学期の拡大
- 社会に役立つ学生の育成
- 落ちこぼれそうな学生を最後まで見放さないで
- 先生と学生が会話出来る場を増やしてほしい
- 学生が学習の意欲をもつ講義内容を
- 定期的に個人と面談をしてほしい

**1. 広報紙「潮風」及び「Meikai」を読んでいますか**

読まない	2.2%	無記	3.3%
見出しを見て読む	19.1%	毎回読む	57.3%
時々読む	17.9%		

**2. 大学からどんな情報を希望しますか**

学生の現況	22.2%	大学の近況	23.5%
学生の状況	16.9%	就職状況	37.2%

**3. ご子弟と大学について話をすることがありますか**

あまりしない	6.7%	しない	1.1%
よくする	12.3%	時々する	42%
帰省時には話す	37%		

**関東地区懇談会アンケート (2年次対象) 回収数99名**

日本語学科3名・英米語学科24名・中国語学科14名・経済学科34名・不動産学科24名

**A. 地区懇談会に参加した印象について**

- 学長、副学長の話を聞くなど有意義な時間だった
- 初めての参加でしたが、講演もあり有意義でした
- 大学側と後援会が一体となり、熱意が感じられてよかった
- 大学の改革が現在進んでいることがわかった
- 大学について全く知らなかったことがよくわかりよかった
- 大学の熱意が感じた。今後も継続してほしい
- 良い情報収集の場でした。大学の方針が理解できた
- 子どもを知っている先生と直接話ができた
- 時間の制限がありますが、もう少し詳しく説明を受けたかった
- 大学がとてもきれいだった。先生方の対応がとてもよかった

**B. ご子弟との話では、どんな話題が多いですか**

- 授業やレポート、テストについて
- 就職、先輩やサッカーの話、クラブ活動、授業内容
- 授業をきちんと受けているのか
- 大学院、各種資格試験、休講について
- 卒業はできるのか
- 国家試験、友だちのこと
- 学食のメニューについて

広報紙「潮風」及び「Meikai」を読んでいますか  
読まない(または無記) 5%  
見出しを見て読む 23%  
毎回読む 46%  
時々読む 26%

# 卒業パーティーは、もうすぐそこ！

テーマは

## 「MEIKAI Blooming Front」



宇津木暢広委員長

学生の参加予定者数800名に対し、12月16日現在450名の応募があり順調に進んでいるようで、500名の応募までは保護者の参加も希望どおりになる予定。委員長の宇津木暢広さんは「以前は卒業パーティーの規模も700名〜800名。そして昨年は1100名強。今年は1300名と年々大きくなってきています。これはひとえに教育

### 明海生最後の日を楽しもう

後援会の援助があつてのこと、とても感謝しています。参加者が楽しみにしている賞品は数を少し減らした分、選りすぐりのものを用意しているそう。また、アトラクションも充実。そしてなんといつてもパーティー用のオリジナル料理も登場するそう。これはひとえに教育

「夢は、卒業生すべてが参加できるパーティーになればと思います。ぜひ卒業生と一緒に明海生最後の



2002年度卒業パーティー



日本語学科3年 孔寶儀さん

### 留学生インタビュー

#### 来日5年目。目指すは日本語学科教授

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣人の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「看板に書かれている大学の名前も英語表記ですし、図書館も英語で呼ぶなど古くない感じがしてとてもいい印象でした。授業でも短大時代と比べて充実しているという。また、短大では1クラス40人だが実際の出席者は10人ほど。『明海生は出席率も高く、授業も真剣に受けていて、とても真面目だと思えます』

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

「基礎力をつける。それが生きる力につながるはず」と、明海生にエールをいだいた。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。



空気の澄んだこの時季には、大学から良く見えます。

2004年1月9日(金)、大学から富士山が見えた。「世界一汚い山」との声もあるが、なぜか遠くに見える富士山を眺めていると心がほっとする。グラウンドでは正月明け、早くも部活動の練習が行われていた。

### スキーシーズン

＜利用資格＞ 保養施設をご利用ください。  
学生、教職員及びその二親等以内の親族  
＜申し込み方法＞  
学事課(学生支援) ※大学発行の利用券が必要です。  
＜利用料金＞ 1人1泊2食付 個人負担 3,000円 (税・サ除く)  
※空室状況は下記にお問合せを。  
★新潟県南魚沼郡湯沢町岩原  
関越自動車道 湯沢インターより約15分  
ホテル・アルパイン  
電話0257-87-3055  
ガーデンクス  
電話0257-87-4411

親元を離れて5年目。日本で震度5以上の地震がある。将来の夢は、大学院へ進み香港へ帰って日本語の教授になること。しかし、あと2年間余計に親を待たせるといふ悩みもある。親からは「女性として、そこまでするまでも」と。顔を離れて5年目。日本



2003年香港にて

### 基礎力をつける

#### 教務部長/経済学部教授 津野憲道先生

Interview



62歳。東京都立大学大学院修了、理学博士。城西歯科大学から1994年に本学に赴任。著書に「ライフサイエンス入門」(共著)などがある。

昨年度から、浦安キャンパスのカリキュラムに関する責任者である教務部長を務めている。魅力ある大学づくりのために、本学のカリキュラムは改良に改良を重ね、ここ数年大きく変化している。「どこにポイントを置いて教育するかがカリキュラムに現れます。今は就職に強い学生を育てることに、目標を置いていきます」

「文系の大学で理系の科目を担当する先生は、授業の内容を工夫していますよ」高校の選択制の弊害が、学生の学力低下の現れか、授業で数式や化学記号が出てくると、学生達はアレルギー反応を起こし、受け付けなくなってしまうとか。「学生が嫌いなことはなるべく避けて、興味を持って学べるような話題を選んで、生物学の楽しさを知ってもらおう努力しています」

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

孔さんは、「隣の人が自分とは全く違う言葉を使うことなど珍しいことではあります。『人話をすると、おもしろい話をするしなやいけな』という強迫観念がDNAに埋め込まれているみたいなんです。笑。授業でも時事ネタを使ってジョークを飛ばすが、最近思ったほど笑いが取れなくてがっかりすることが多いそう。『当然読まなければいけない本を読んでいるし、新聞はおろか、テレビさえも見ていない。だから何がおもしろいかわからないのでしよう』と危機感を募らせる。

# 新春 座談会

## 「これからの明海大学を語る」

### 私の夢、学生に託す夢

最近の新春対談では、大学の国際化や本学の国際交流などをテーマにして行ってきました。今年も趣向を変えて、若手の先生方にお集まりいただき、「ご自身の夢や、学生たちに託す夢を大いに語っていただきました。」

### もっと積極的に 外国人と交流を

**横濱**：本日のテーマであり、私からの明海大学を語る、私の夢、学生に託す夢について、自己紹介を兼ねてお願いいたします。

中国語学科と違って、日本語学科は日本語を教えることを研究するという学科です。学生にとっては、なぜ日本語を勉強するのかというところから始まり、ある意味では勉強するのが難しい学科なのかもしれません。

ただ、外国人に日本語を教えることに取り組んでいまして、外国の学生と触れ合うことをもっと積極的にしなくてはならないというわけです。本学はご存じのように留学生が多い大学ですし、海外との交流も非常に多いのですが、目の前に留学生がいるのに、あまり友達に

なっていないという状況があります。放っておいてもできるよなうになりませんか、授業の中で留学生と日本の学生が協力し合うような作業をさせてみると、やればできるんですね。非常に仲良くなったり、いろいろな教養会つたり助け合ったりしています。これからもっともっと日本に外国人が入ってきて、いろいろな協力する場面が出てきます。学生たちには積極的に、自分から近づいていってほしいと考えております。

出口がより明らかになる仕組みができました。でも、学生の気質は設立当初とそんなに変わっていないかなあと思っております。実は11月から12月にかけて英米語学科の2年生は3年時のゼミを選択するため、先生の所を訪問します。

1年生の時に、「大学ではアルバイトをするんだ、やりたいことをやるんだ」と言っていた学生が、2年生になって少ずつ、「それだけじゃだめなんだ」とわかってきたようなところがあります。たとえば、あまり英語が得意ではない男子学生が、友達を5人連れてきて、「おれ、何とかしたいんだ」みたいなことを言うんですね。「友達とは楽しいことがあるけれど、自分の中で『負けていたらない』みたいな気持ちがある。だけど、やっぱり基礎がわかっていない、どうしたらいいんだろ」と。少ずつ自分の進路のことも考えることができるようになってきたんだなあと感じています。

加藤：中国語学科の場合は大学に入った時点から中国語を勉強し始める学生がほとんどです。ゼロからきちんと教えて、ある程度コミュニケーションができる中国語力をつけてあげなければいけない、それがいちばん学生に望むことだと思います。教員側の責任だろうと思っております。15人くらいの小さなクラスで、週2回みっちり中国人の先生についてもらおうのを含め、週7コマ勉強しますので、きちんとやっつけていけばかなりの力をつけていきます。最初何もできなかったところから、少ずつできるようになっていくのを見るのは楽しいものです。

加賀見：うちだけでなく、ほかの大学でも経済学部というのはいくらも軒並み芳しくない状況にあるというの。私はこちらに来て5年目になります、ずっと1年生の必修科目の経済学概論を担当しております。みなさん経済学という言葉はご存じだと思いますが、実際、

高いうちの学校に比べて、ご父母は大変な思いをしてご息をうちの学校にお預けいだいて、実際に大学として何をやるのかというところ、世の中で生き残っていく、生活していく、その能力を身につけてあげるのが大学の役割だと考えております。

世の中って何なんだろう、何が起きているんだろ、うかというところは、新聞を読めばわかります。じゃあなぜ起きているのか、どのようになっているのか、自分はどうすればいいのか、そこについてじっくり考えるのは大学しかないのではないかと思います。それは明海大学でも十分出来ます。その上で、国際的な方向でもいいし、実学的な方向でもいいし、これは私だけ

「中国語ができれば、中国語が得意なところがある」ということをおっしゃる先生が多い。今、加藤先生が「自分で考える」ということをおっしゃる先生が多い。今、加藤先生が「自分で考える」ということをおっしゃる先生が多い。

加賀見：うちだけでなく、ほかの大学でも経済学部というのはいくらも軒並み芳しくない状況にあるというの。私はこちらに来て5年目になります、ずっと1年生の必修科目の経済学概論を担当しております。みなさん経済学という言葉はご存じだと思いますが、実際、

高いうちの学校に比べて、ご父母は大変な思いをしてご息をうちの学校にお預けいだいて、実際に大学として何をやるのかというところ、世の中で生き残っていく、生活していく、その能力を身につけてあげるのが大学の役割だと考えております。

世の中って何なんだろう、何が起きているんだろ、うかというところは、新聞を読めばわかります。じゃあなぜ起きているのか、どのようになっているのか、自分はどうすればいいのか、そこについてじっくり考えるのは大学しかないのではないかと思います。それは明海大学でも十分出来ます。その上で、国際的な方向でもいいし、実学的な方向でもいいし、これは私だけ

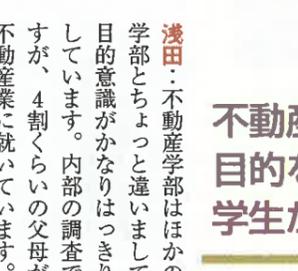
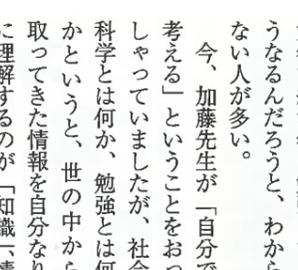
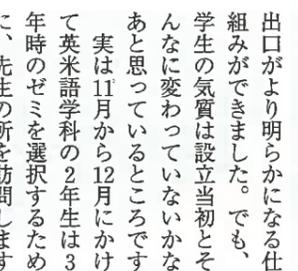
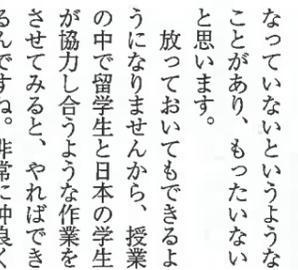
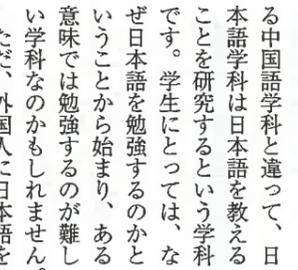
浅田：不動産学部はほかの学部とちよつと違っていて、目的意識がかなりはっきりしています。内部の調査ですが、4割くらいの父母が不動産業に就いています。ですから基本的に知恵をつけるのも大事ですが、いかにして不動産業として成り立つ人材をつくるかということに絞れます。その点では迷いがないんじゃないかと思っております。

その中で、宅建など不動産関連の資格がありまして、それを取るような勉強をしていきます。先ほど加藤先生が、「中国語をいかにやる」という話をしましたが、私のゼミ生も、入ってきたときは、家賃の「賃」の字が読めない学生がいました。ところが半年で宅建取っちゃったんですね。やればできるわけです。

ここでの勉強は、知恵というより生活の手段なんです。何でかというところ、リタイアになると、生涯所得は1億円弱です。ところが一般企業に勤めると生涯所得が3億円弱で、さらに年金ももらえると。そこで宅建とつたら、月に2万円から3万円の「お手当」がつくんですね。そう説明す

じゃなくて、経済学部の若手の先生達はどういう気持ちで学生たちに知恵を身につけさせて、その上で社会に出してあげたいと考えていると思っております。

不動産学部は目的をもった学生が多い



外国語学部英米語学科  
渡辺雅仁先生

### 今も昔も、 学生の気質は 変わらない

**渡辺**：明海大学創設1年目に赴任して、今年で16年目です。入ったときは明海大学の中で唯一20代の教員でしたが、すでに40歳を越えてしまいました。

こここのところ大学はものすごく変化しています。新しくコース制ができて、通訳・翻訳コース、ビジネスキャリアコース、教員養成コースを選択でき、人口と

加藤：中国語学科の場合は大学に入った時点から中国語を勉強し始める学生がほとんどです。ゼロからきちんと教えて、ある程度コミュニケーションができる中国語力をつけてあげなければいけない、それがいちばん学生に望むことだと思います。教員側の責任だろうと思っております。15人くらいの小さなクラスで、週2回みっちり中国人の先生についてもらおうのを含め、週7コマ勉強しますので、きちんとやっつけていけばかなりの力をつけていきます。最初何もできなかったところから、少ずつできるようになっていくのを見るのは楽しいものです。



外国語学部中国語学科  
加藤晴子先生



外国語学部日本語学科  
佐々木文彦先生

加賀見：うちだけでなく、ほかの大学でも経済学部というのはいくらも軒並み芳しくない状況にあるというの。私はこちらに来て5年目になります、ずっと1年生の必修科目の経済学概論を担当しております。みなさん経済学という言葉はご存じだと思いますが、実際、

高いうちの学校に比べて、ご父母は大変な思いをしてご息をうちの学校にお預けいだいて、実際に大学として何をやるのかというところ、世の中で生き残っていく、生活していく、その能力を身につけてあげるのが大学の役割だと考えております。

世の中って何なんだろう、何が起きているんだろ、うかというところは、新聞を読めばわかります。じゃあなぜ起きているのか、どのようになっているのか、自分はどうすればいいのか、そこについてじっくり考えるのは大学しかないのではないかと思います。それは明海大学でも十分出来ます。その上で、国際的な方向でもいいし、実学的な方向でもいいし、これは私だけ



経済学部経済学科  
加賀見一彰先生

浅田：不動産学部はほかの学部とちよつと違っていて、目的意識がかなりはっきりしています。内部の調査ですが、4割くらいの父母が不動産業に就いています。ですから基本的に知恵をつけるのも大事ですが、いかにして不動産業として成り立つ人材をつくるかということに絞れます。その点では迷いがないんじゃないかと思っております。

その中で、宅建など不動産関連の資格がありまして、それを取るような勉強をしていきます。先ほど加藤先生が、「中国語をいかにやる」という話をしましたが、私のゼミ生も、入ってきたときは、家賃の「賃」の字が読めない学生がいました。ところが半年で宅建取っちゃったんですね。やればできるわけです。

ここでの勉強は、知恵というより生活の手段なんです。何でかというところ、リタイアになると、生涯所得は1億円弱です。ところが一般企業に勤めると生涯所得が3億円弱で、さらに年金ももらえると。そこで宅建とつたら、月に2万円から3万円の「お手当」がつくんですね。そう説明す



もうちよつとがばつてほしいなと思う所は、あまり自分の頭で考えようとしていないところがある。中国語ができれば、中国語が得意なところがある」ということをおっしゃる先生が多い。今、加藤先生が「自分で考える」ということをおっしゃる先生が多い。

加賀見：うちだけでなく、ほかの大学でも経済学部というのはいくらも軒並み芳しくない状況にあるというの。私はこちらに来て5年目になります、ずっと1年生の必修科目の経済学概論を担当しております。みなさん経済学という言葉はご存じだと思いますが、実際、

高いうちの学校に比べて、ご父母は大変な思いをしてご息をうちの学校にお預けいだいて、実際に大学として何をやるのかというところ、世の中で生き残っていく、生活していく、その能力を身につけてあげるのが大学の役割だと考えております。

世の中って何なんだろう、何が起きているんだろ、うかというところは、新聞を読めばわかります。じゃあなぜ起きているのか、どのようになっているのか、自分はどうすればいいのか、そこについてじっくり考えるのは大学しかないのではないかと思います。それは明海大学でも十分出来ます。その上で、国際的な方向でもいいし、実学的な方向でもいいし、これは私だけ

浅田：不動産学部はほかの学部とちよつと違っていて、目的意識がかなりはっきりしています。内部の調査ですが、4割くらいの父母が不動産業に就いています。ですから基本的に知恵をつけるのも大事ですが、いかにして不動産業として成り立つ人材をつくるかということに絞れます。その点では迷いがないんじゃないかと思っております。

ると学生の目が「キラッ」と光って、特に宅建を取る」と本学は7万円の報奨金がいただける。そういう目的意識がありますから、勉強します。ゼロからでもきちんと教えればなんとかなります。

もうひとつは、うちは所帯が小さいです。定員が300人強ですから、少人数教育がかなりできるという利点があり、比較的教育も楽だと思えます。

**横濱**：先生方からお話をいただきまして、親の立場からお願います。

### 自分の進む道は自分で切り開け

**溝口**：明海大学に来てよかったなあと、語学研修でオーストラリアやアメリカに行かせてもらっ



たことです。我々が若い頃できなかったことをやらせていただき感謝しています。いずれにしましても、子どもはいろんな道を自分で選ぶように仕向けてきたつもりです。大学を卒業しても、自分なりに道を見つけてもらえればと思っています。

**鈴木**：私の娘は英米語学科の2年生です。今年の夏にイギリスに留学しました。小さいときにアメリカに一度連れて行きましたので、海外に興味を持つようになったんだと思います。娘は再度海外へ行く希望があるようです。

私はサラリーマンですが、本当に好きで選んだ仕事をしていきます。子どもたちにも、たった一度の人生ですから自分でやりたいことをやってみてほしいと思います。

**横山**：経済学部でお世話になってます。うちの息子も先生方が話していたように、何も目的もなく、「経済学部でも入るか」というような感じの学生でした。

**横濱**：子どもの頃からもっている夢があったら、お話しただけませんか。

### 片手に夢を、片手に現実感を

まだ留学生の友達はいないようですが、せっかくなので、国際的な人間になってもらいたいと考えています。

入學した時はどうなるんだろうかと、親としてとても不安でした。でも2年生になり、ずいぶん目的意識がはつきりしてきたようで、大学で教えていただいたことを親に話してくれているようになり、何となく自分もこの風にならなりたいという、目的意識が出てきたように思います。

まだ留学生の友達はいないようですが、せっかくなので、国際的な人間になってもらいたいと考えています。

入學した時はどうなるんだろうかと、親としてとても不安でした。でも2年生になり、ずいぶん目的意識がはつきりしてきたようで、大学で教えていただいたことを親に話してくれているようになり、何となく自分もこの風にならなりたいという、目的意識が出てきたように思います。

教育後援会 大塚博行会長



不動産学部不動産学科 浅田義久先生



今、学生は、漠然とした夢と漠然とした現実感が両手にあるので、結局どこにも行けないというところになっていないでしょうか。

**浅田**：1度社会に出るのはいいのかもしれないですね。実は今年不動産学部には、土地家屋調査士と不動産鑑定士というたいへん難しい資格を取得した学生がいます。どちらも1度社会人を経験しています。

**横濱**：夢を持っている人は強いですよ。

**鈴木**：学校に入ってきて、自分の目標がはつきりしている学生はどれくらいいるんでしょうか。

**浅田**：不動産学部は比較的明確ですよ。

**加賀見**：経済学部は30人一人くらいでしょうか。うちに入ってくる学生は、良くも悪くも色がついていない。余白の部分が多くて、育てようによってはずいぶん変わっていきます。ですから、2年生くらいになると、しっかりと目標を持つ学生が増えてきます。

### 夢を現実にする手段は？

**渡辺**：今の学生はのんきなようですが、現実をみていないこともないと思います。

**横濱**：毎年のように地区懇談会に出席してもらって話をします。先日学生のお父さんとお話をしたんですが、その学生は勉強はできないんですが、スノーボード留学をしたと言っているんですよ。カナダなどにあるんですよ。



教育後援会 鈴木陽夫副会長



教育後援会 溝口正孝副会長

「留学しないのはなぜか」と聞くと、父母に負担をかけたくないと、言い出せないでいたりする。現実を見ないわけにはいかないが、夢も持つてほしいと思います。

**横濱**：世相が暗いせいでしょうか、子どもと夢を語るのが減多にならないような気がします。

**加賀見**：実現する手段をあまり考えていないのかなと思います。なんとなくお金がかかりそうだからと遠慮しているのではなく、実際留学にいくらかかると、親がいくら出してくれて、あとはどれくらいアルバイトすればいいとか、自分の手で夢をつかみ取ることも考えられるんじゃないでしょうか。

**渡辺**：毎年のように地区懇談会に出席してもらって話をします。先日学生のお父さんとお話をしたんですが、その学生は勉強はできないんですが、スノーボード留学をしたと言っているんですよ。カナダなどにあるんですよ。

教育後援会 横濱孝雄副会長



教育後援会 横山容子幹事

「留学しないのはなぜか」と聞くと、父母に負担をかけたくないと、言い出せないでいたりする。現実を見ないわけにはいかないが、夢も持つてほしいと思います。

**横濱**：世相が暗いせいでしょうか、子どもと夢を語るのが減多にならないような気がします。

**加賀見**：実現する手段をあまり考えていないのかなと思います。なんとなくお金がかかりそうだからと遠慮しているのではなく、実際留学にいくらかかると、親がいくら出してくれて、あとはどれくらいアルバイトすればいいとか、自分の手で夢をつかみ取ることも考えられるんじゃないでしょうか。

**渡辺**：毎年のように地区懇談会に出席してもらって話をします。先日学生のお父さんとお話をしたんですが、その学生は勉強はできないんですが、スノーボード留学をしたと言っているんですよ。カナダなどにあるんですよ。

うです。ただ、そういう学校は英語を重視しているプログラムはないんですよ。誰もスキー場に会話学校を作ろうとは思いませんから。そういう中でお父さんと話したことは、この学生にもっとコツコツと勉強させたい、そして力が付いたことを先生が見極めて欲しい。それができたらカナダでもどこでも留学させようと言っています。

教師とお父さんお母さんの連携がうまくいくと、ほんとに肩を押してあげるだけで、道が開けることもあるのかなと思えました。

**横濱**：地区懇談会の個人面談の話ですね。学校と親が連携することで、子どもの可能性を大きく広げることができるとは思いますが、ね。

**大塚**：本日は第一線で教えていただいている先生方と対談させていただくという初めての試みでしたが、貴重なご意見をお聞きすることができありがとうございます。

- (参加者)
- 外国語学部日本語学科 佐々木文彦先生
  - 外国語学部英米語学科 渡辺雅仁先生
  - 外国語学部中国語学科 加藤晴子先生
  - 経済学部経済学科 加賀見一彰先生
  - 不動産学部不動産学科 浅田義久先生
- 教育後援会会長 大塚博行  
副会長 溝口正孝  
幹事 横濱孝雄 鈴木陽夫 横山容子

### 男子硬式庭球部

関東大学2部リーグ4位の位置にいる同部。秋季リーグ団体戦の成績は16チーム中13位だった。

部員数17名。シングルでは予選を勝ち抜いた3名が関東学生に入り、ダブルスではロシア人とペアを組み、全日本選手権に出場している選手もいる。

「やるときはやる」「楽しくやる」とは、練習は月・水・金・土曜日の4日間。球出しなどの基本から2対1で行われる振り回しやゲーム形式での練習を行っている。また、毎週土曜日には全日本

クラスのコーチを招いて学んでいる。

ゲーム形式での練習はとてハードで、特にコートから端のラインを、ダッシュしてタッチしていく「3面ラインタッチ」と呼ばれるバツゲームをもうけていく。これがかなりハードなバツゲームのため「絶対に負けられない」とみんな必死に戦っているそうだ。テニスは「相手のいるスポーツですが、自分との戦いが先決。まず自分に勝つことです。追い込まれた場面でのプレッシャーにどのようにして勝つかなどが重要」という黒澤一斗部長(3年・不動産学部)。また、「勝負ごとが好きなのはテニスに向いていると思います」。



●1年中国語学科 杉本さん・大屋さん

杉本さんは中国語学科がある明海大学を希望して入学。授業はとも楽しく、クラスも15人と少ないためまとまっているそうだ。3年になったら「できれば」長期留学をしたいという。

大屋さんは将来、語学に磨きをかけリハビリ(理学療法)の専門学校に行くことを希望。中国で医療関係の仕事に就きたいそうだ。



雑賀さん(左)・後藤さん(右)



村上さん



泉さん

11月1日から3日間、浦安キャンパスで第16回明海祭が行われ、近隣に住むファミリーや高校生らで賑わった。主催は学友会学園祭実行委員会(橋本一樹委員長)。

第16回目となる今年のテーマは「きっかけは明海祭」。「一人ひとりが未来のために今できることを考え、行動するきっかけをつかんでほしい」という思いを込めた」と同実行委員長。

明海祭は、J.R.京葉線「浦安」から本学までのパレードにぎやかに幕を開ける予定だったが、当日はあいにくの雨となりパレードは中止。オープニングセレモニーも屋外の特設ステージから学生ホールに変更して行われ、吹奏楽部の演奏やチャリティーダンスの演技が行われた。

講義棟内では18団体が展示や発表を行い、キャンパスにつくられたメイン会場では、たこ焼き、焼きそば、おでんなどを販売する模擬店がずらりと並んでいた。

近隣のマンションに住んでいるという夫婦は、「毎年明海祭に来ています。特に留学生の屋台を楽しみにしています。国際的な雰囲気がいいですね」と感想を話していた。

## 近隣の住民も楽しみにしています 第16回明海祭 開催

# 部活動紹介

### 情報処理研究部

部員数約20名。主な活動は6階にあるオープンルームでパソコンの貸し出しや授業後の整理など、運営のアシスタントをしている。「プリンターの紙詰まりの処理からコンピュータの使い方など質問は様々です。中には自宅で使用しているノートパソコンを持ってきて質問をする人もいます」と川口暁士部長(3年経済学科)。

また、「質問に対して答えることや、知識が豊富な職員の方とお話をさせていただくことができますので、とてもいい勉強になります」。今年度は部の方針として、経済産業省認定の国家試験「初級システムアドミニス



トレタ試験」や文部科学省認定の「情報処理活用能力検定」などの資格取得のため、週1回勉強会を行っている。

「同じ能力であれば資格を取得していたほうが指標にもなるのではないかと思えます。また、大学時代に取得すれば奨励金もです。部員には資格を取りましょう」とも言っています。

部員や一般学生からの質問に対して答える川口さんは、一日平均4〜5時間パソコンの前にいるという。「大学に入ってからパソコンをはじめた人には、少しずつ進めていくようにしています。また、聞いてくることに答えているばかりではなく、自分で考えて勉強してもらおうようにもしています。そして、ある程度理解している人には本を渡し勉強してもらいます」。

厳しい上下関係がないという部の特徴として「部員全員で何かをする」というのではなく、音楽や絵など自分の趣味に結び付け「個人が楽しみながら」上達していくようにしている。そのため部員は「ソフトの購入や環境を提供していくことです」と川口部長。



杉本さん(左)・大屋さん(右)

●2年経済学科 雑賀さん・後藤さん

雑賀さんは今年になって、人と人のつながりを大切にしたいと「ピース」というサークルを作った。「サークルとかに入っていない人間関係が乏しくなりやすから」と。

実家は浅草にある、暖簾分けされた由緒ある飲食店。親は継いでほしいが、親からは「自分のやりたいこと

明海大学浦安キャンパス 教育後援会ホームページ <http://www.meikai-koenkai.com/> **アクセスしてください。**

昨年の4月に開設した教育後援会のホームページ。最近では月平均約1400件のアクセスがあります。内容は、教育後援会の概要や事業計画、地区懇談会の報告などをトピックスでお知らせしています。今後もコンテンツの充実を図り、多くの情報を提供していきます。







### 厳選採用で内定率は昨年並も、質的には向上

## 2002年度の就職戦線を振り返る

不況の上向きが、就職戦線はどんな様子だったのか、2004年3月に卒業予定の学生たちの就職状況を、学事課就職支援の本主幹にお話を聞いた。

文部科学省と厚生労働省が行っている就職内定状況調査(12月1日現在)の中間発表によると、全国62大学で就職を希望する学生のうち、就職が内定した学生は、73・5%で前年の同時期より3・2%低いということがわかった。

一方本学の状況はというと、昨年並という感触をかんている。

「現時点では政府発表の数



関東就職懇談会

### 就職懇談会 浦安キャンパスで開催!

10月19日(日)浦安キャンパスの体育館を会場に就職懇談会が開催された。3年生を対象とした就職に関する懇談会は初めての試みだったが、関東1都6県から87組、130人の父母が参加した。

まず、教育後援会の大家博行会長が、「日本経済は低迷が続いていて、まだまだ雇用の状況も厳しい。親としては早めに就職に関する情報を収集して、学生に合った就職をさせてやりたいと考え、就職に関係した懇談会を企画した。これを機会に子どもと十分話し合

なっていて、二番手、三番手企業の採用活動が早期化したのが、今年の傾向といえる。

学生にとってはつらい時期が続いているが、自分を深く掘り下げてアピールする能力が必要。相手の企業に、「そういう学生なら欲しいな」と思わせる説得力のある履歴書やエントリーシートが出せなければ、第一関門も突破できないのが

### まずは就職支援を利用しよう

就職の近道として、「大学を利用してほしい」と山本主幹は力を込める。

「違う年代とはコミュニケーションの回りの狭い人間関係の中で物事をすすめてしま

い、少しでも早く準備を始めてほしい」と挨拶。

大学側からは高倉翔学長が、「本日の懇談会は、大学と社会との連携を就職に特化して考えてみようという先駆的な取り組みとらえてほしい」と、懇談会の趣旨を述べ、さらに、少子化などの社会変化に伴い、大学も生き残りをかけて変わらなければならない状況にあることに触れ、「真理の追究といった学問一辺倒の教育ではなく、理想的な人間形成の上に成り立つ強い実学指向の教育にウエイトを置こうとしている。つまり就職に強い大学を目指している」と、本学の教育方針を説明された。

ここで出席の大学職員と

現状。

「ただ、早めに内定をもらった学生も、最初から優秀だったというわけではなく、何度か企業と接触したり、面接を受けるうちに、己を知ったりコツをつかんだりして、成長した学生がほとんど。少しでも早く就職活動をスタートすること、そして努力あるのみ」と熱いエールを送っていた。



菊地信一氏

おうという傾向が見られます。大学はもちろん、親にも相談しない学生が増えていきます。情報はたくさんありますが、必ず参考になるものがあるから、一度利用して欲しい」と呼びかけていた。



体験を話す学生

この学内企業セミナーは、リクナビなどのネット情報をもらっている。

用コンサルタント現代職業工房主宰の菊地信一氏が、「進路決定に際して必要な家族のサポート」をテーマに講演した。菊地氏は3年前から本学の就職講座の講師を務めており、明海大学の学生の実態をふまえた上で、採用試験やエントリーシート、面接の対策など、企業側の意図も交えてわかりやすく話してくれた。

最後に、実際に就職活動をして就職が内定した学生たちによるパネルディスカッションが行われた。いくつかの質問が投げられた。志望企業をどのように絞ったのか、就職について親はどのようにかかわったのか、といったテーマに

### 実際に高い内定率 学内企業セミナーに参加してみよう

就職支援のプログラムのひとつに、学内企業セミナーがある。これは、各企業の採用担当者を集めてもらって、企業紹介などを受けるといったもの。今年度は2月、6月、10月と3回行われている。2月には体育館で2日間(130社)、6月は小規模にして1週間(75社)行った。特徴的なのは、10月から11月に開催されるもので、学内選考会として1日1社に絞って行われる。今年度は20社社に

就職活動を力強くバックアップする新しいコンピュータシステムが、3月下旬から稼働する予定だ。これは、自宅のパソコンや携帯電話などから、インターネットを使って、大学に

来た求人が見られるというシステム。1対1でのメールの送受信も可能で、学生は携帯やパソコンから、相談をしたり、内定の報告などを入れることができるようになる。電話をかけた後、大学に来ることなくすみやかに報告出来るので、タイムリーな情報のやりとりが期待できる。

また、これまで企業から求人票をもらっても、学生は求人票を見る事が中心で、

### 大学に来た求人情報が、家で見られる 就職支援の新システムがまもなく稼働

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

たのか、といったテーマに

●参加者の感想

●具体的な話が聞けて、子どもをサポートするきっかけがつかめました。さっそく、子どもと就職について話をしてみます。

●就職の流れがよくわかりました。具体的なアドバイ

英米語学科3年女子 千葉

●就職の流れがよくわかりました。具体的なアドバイ

けに自社の企業セミナーへ参加してもらって、採用につなげたいと熱意をもって取り組んでくれるところが

速やかな情報提供が難しい状況だったが、希望する学生には求人の情報を直接メールすることもできるため、募集する企業にとっても、ありがたいシステムになりそうだ。

まずは学生にメール登録してもらい、就職支援からのお知らせや、希望する業種の求人情報などを配信していく。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

スが多く参考になりました。日本語学科3年男子 東京都

●就職については私の時代と様子がだいぶ違うので、適切なアドバイスができません。感じていました。本日のお話をうかがって、親として子どもにしてあげられることがたくさんあることがわかり、家族がひとつになれる気がしました。

不動産学科3年男子 千葉

不動産学科3年男子 千葉

### 編集後記

昨年末は暖冬で冬物の売れ行きが悪く、個人消費は冷え込んでいましたが、設備投資と輸出に支えられ景気は着実に回復傾向にあるようです。しかし、雇用については依然厳しい状況が続いています。

本学卒業生は、4月から実社会に入って仕事に立ち向かうわけですが、夢や高い志をもって厳しさを打破していただきたいと思

私は昨年、自分の夢を実現した二人の話を聴く機会に恵まれました。一人はフランスワールドカップの主審を務め、現在も活躍中のO氏ですが、上達の秘訣は「基本をしっかり勉強し、常に目的をもって行動することであり、継続することが本物の力となる」と。また、シドニーパラリンピック

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。

「誰でも見られるリクナビなどの情報と違い、明海大生を意識した企業が発信した情報なので、かなり確率が高い」と山本主幹。

また、この情報は先生方にも届けられることになっていて、「学生、先生、就職支援の三者が情報を共有することで、より学生とつながりを濃くしていく」と就職支援では計画している。